

東彼杵町小中学校教育の将来に向けてのアンケート結果

I アンケート実施の概要	1
II アンケート結果	2
1 小学生アンケート<全体>	
2 中学生アンケート<全体>	
3 小学生保護者アンケート<全体>	
4 中学生保護者アンケート<全体>	
5 教職員アンケート<全体>	

令和7年3月

東彼杵町教育委員会

I アンケート実施の概要

(1)目的

- ① 小中一貫教育導入にあたっては、義務教育 9 年間を見通した教育活動が展開されることが最も重要であると同時に、現状を把握する必要がある。
- ② また、中 1 ギャップをはじめとする「段差の解消」を図ることも効果として期待される要素である。それらを踏まえ、教育に関わる当事者それぞれの現状や意識をまず把握する必要がある。
- ③ 本町は、これまでも「小中連携教育」を推進してきた経緯があり、そのことを糸口として、今後の取組、とりわけ地域の特色を生かしたふるさと教育・キャリア教育を基本とした、カリキュラム作成や活動を計画していくことが必要である。
- ④ また、保護者や教職員が、現状の小中連携教育の重要性をどう感じているかを把握し、今後小中一貫教育として展開する際の参考にしたい。
(〇今回初めてのアンケートということで、平成 24 年より小中一貫教育に取り組まれている、京都府宇治市の取組を参考にさせていただいた。)
- ⑤ 地域住民対象のアンケートについては、導入検討委員会での関係者対象アンケート結果をもとに今後の行われる論議や進捗状況を踏まえた資料に基づき、一定の説明を行ったうえで実施していきたい。

(2)内容

- ①児童生徒対象(小学生用・中学生用)
- ②保護者対象(小学生保護者用・中学生保護者用)
- ③教職員対象(町内小学校・中学校教職員用)

(3)対象

- ①東彼杵町立小学校 第4～6学年の各学年の児童と保護者
- ②東彼杵町立中学校 第1～3学年の各学年の生徒と保護者
- ③東彼杵町立小学校教職員・中学校教職員

(4)実施時期

〇児童生徒、保護者、教職員とも、令和6年10月15日(火)～10月25日(金)

(5)方法

- ①マイクロソフト・フォームズ上でのチェック方式
- ②マイクロソフト・フォームズ上での記述方式

(6)対象者及び回収数(率)※保護者については複数学年在籍の場合は上の学年に計上

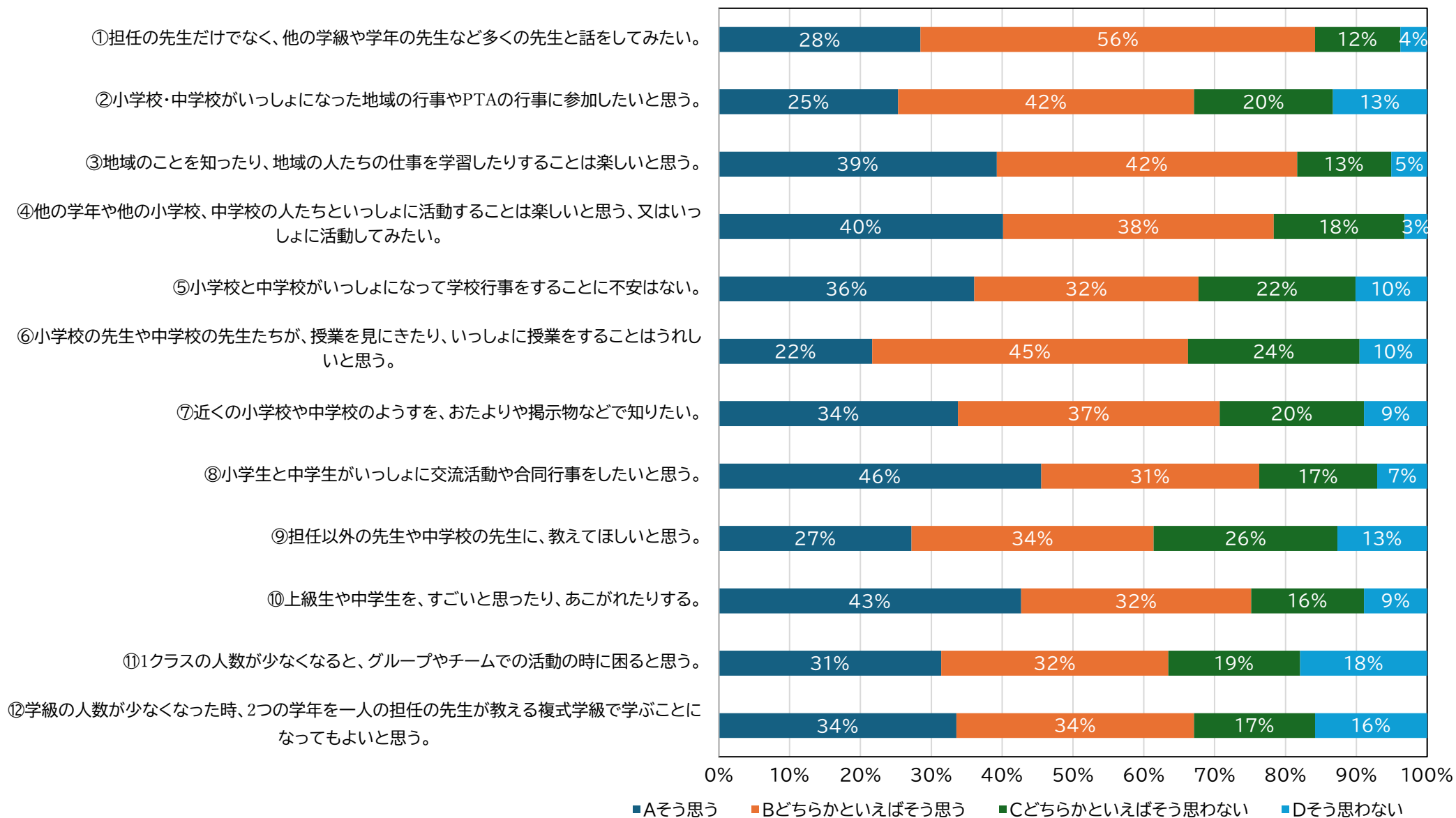
	対象者数	回収数(回収率)	対象者数	回収数(回収率)
小学校4年生	54	49・(91%)	36	13・(36%)
小学校5年生	54	51・(94%)	52	11・(21%)
小学校6年生	60	58・(97%)	59	24・(41%)
中学校1年生	49	39・(80%)	39	8・(21%)
中学校2年生	51	40・(78%)	47	9・(19%)
中学校3年生	68	60・(88%)	68	8・(12%)

	対象者数	回収数(回収率)
教職員	57	41・(72%)

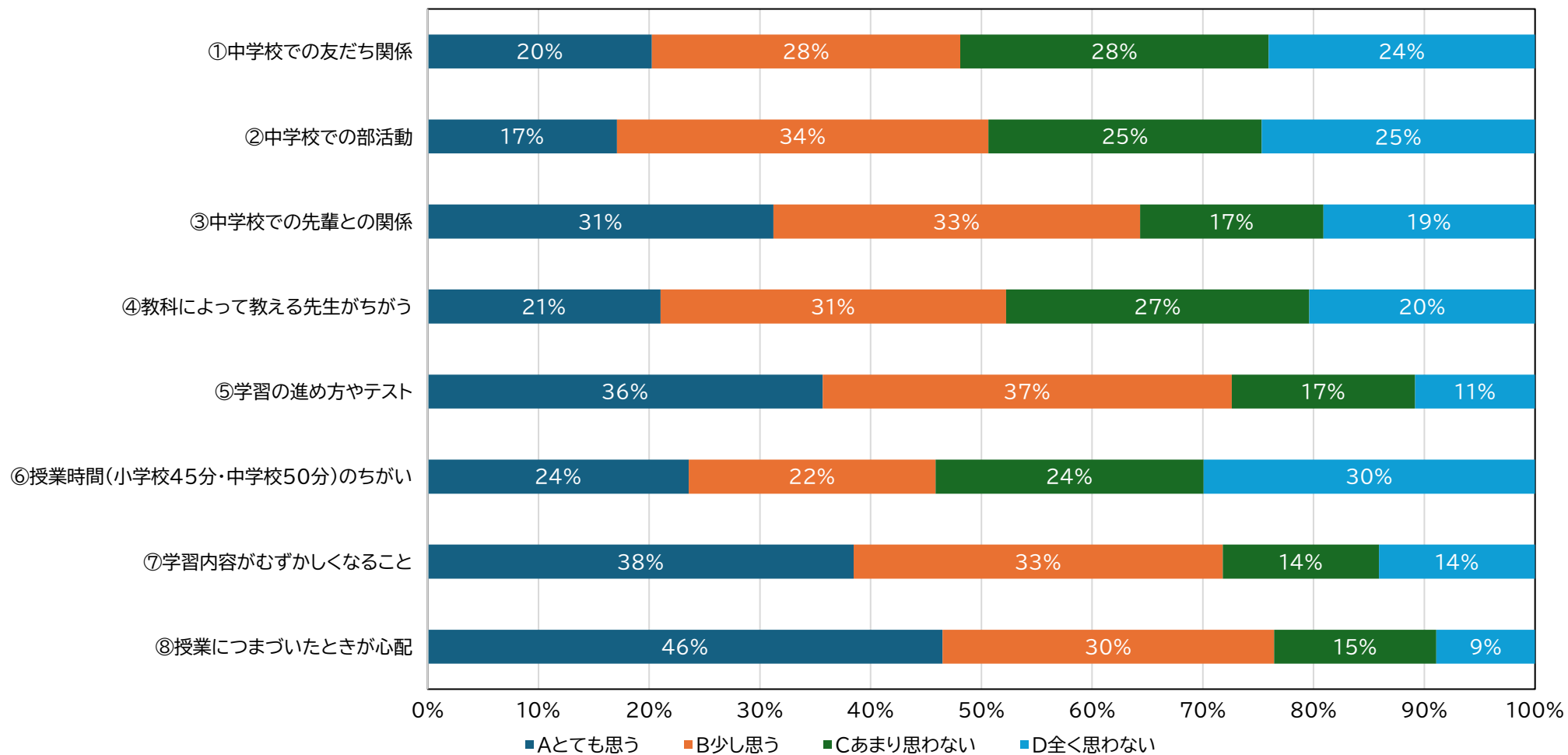
Ⅱ アンケート結果

1 小学生<全体>

学校生活

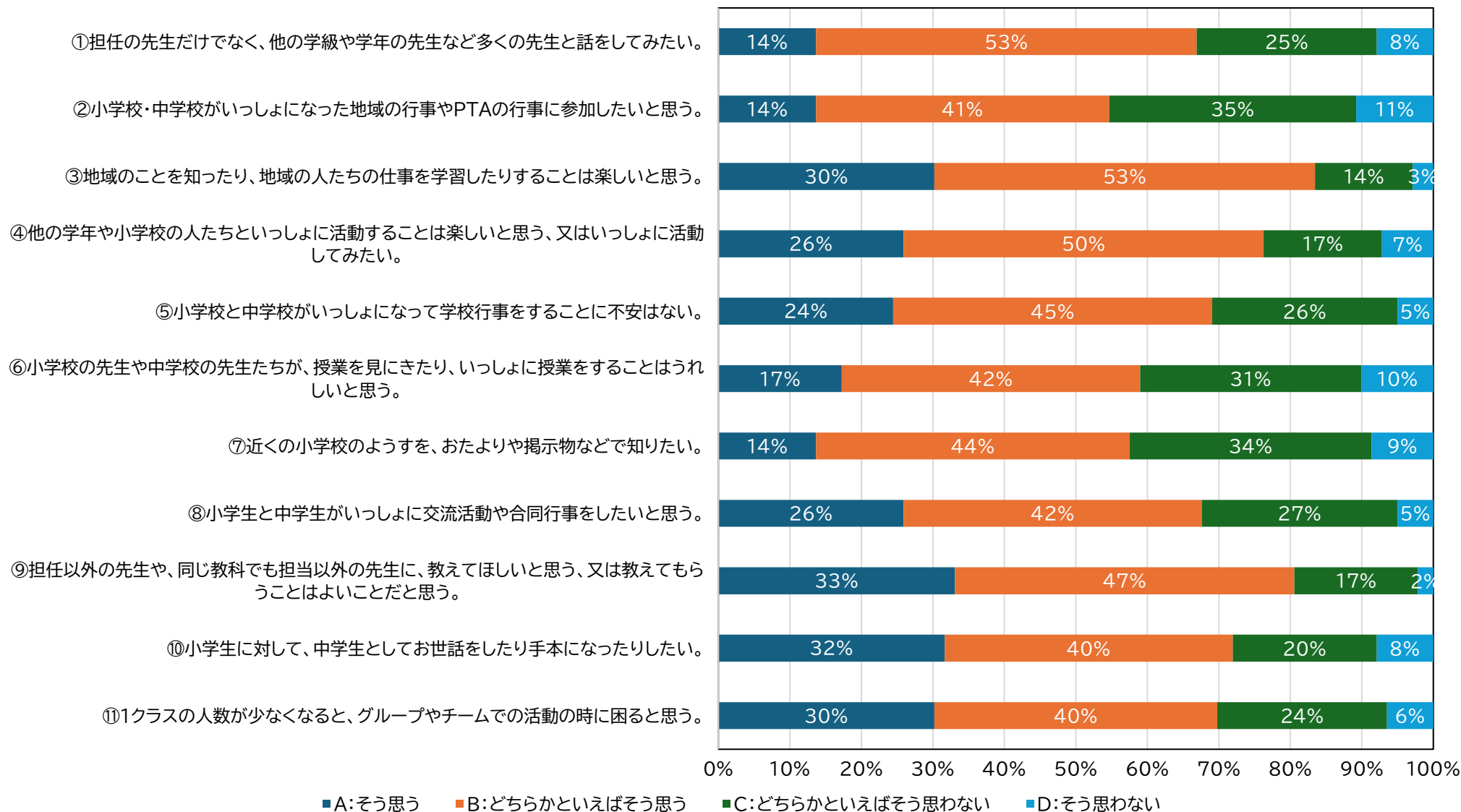


中学進学に向けて心配や不安に思うこと

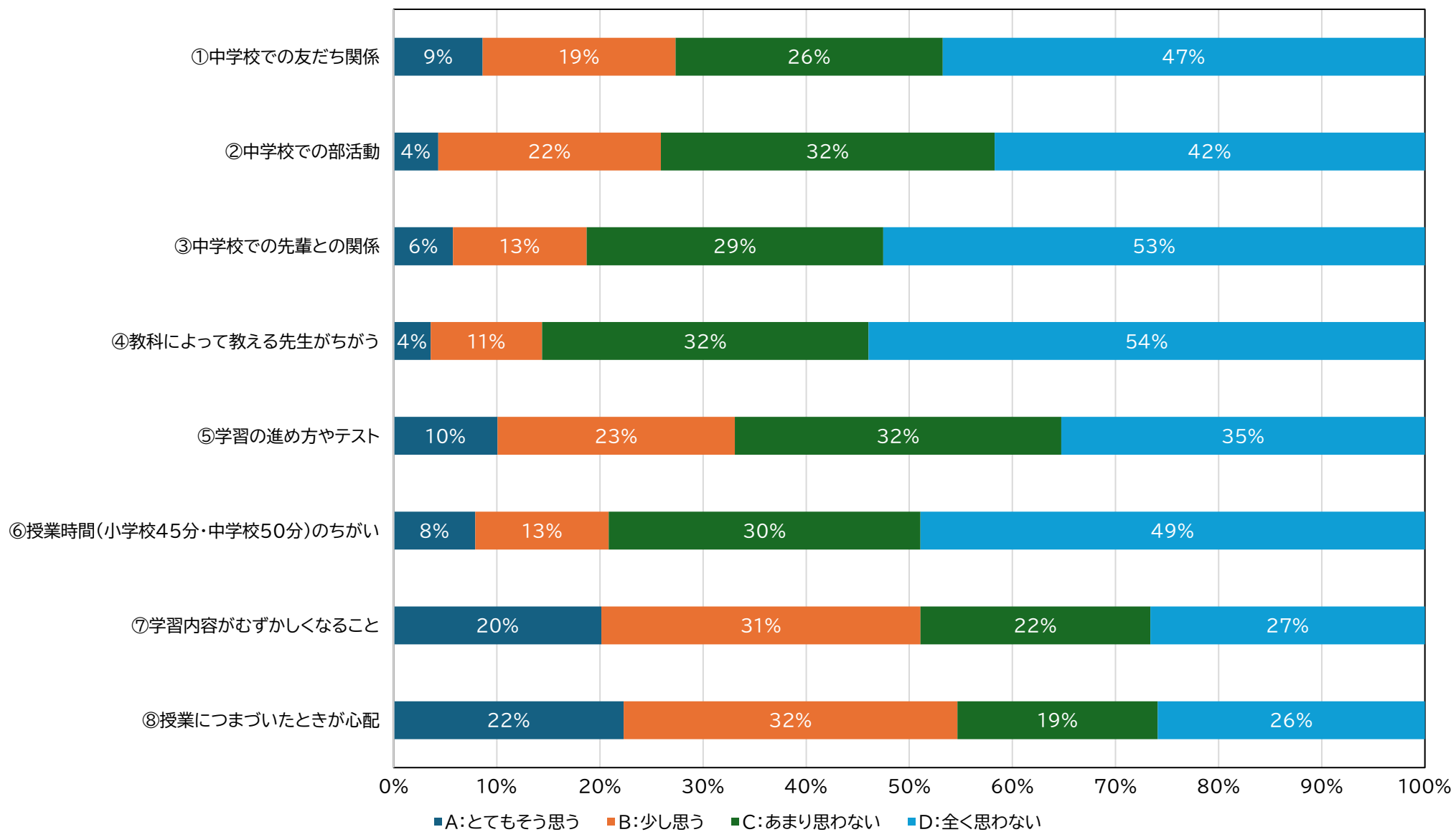


2 中学生〈全体〉

学校生活



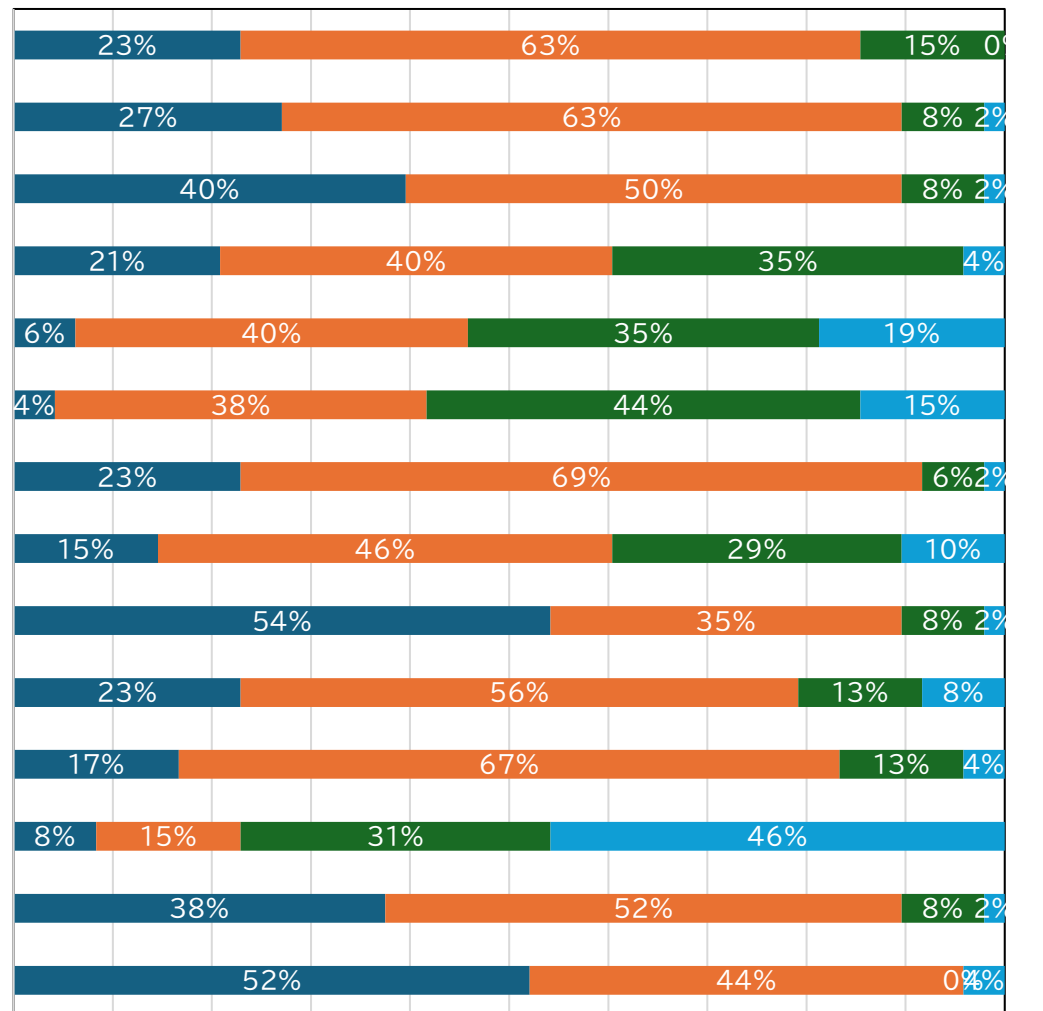
中学入学後の悩みやとまどったこと



3 小学生保護者<全体>

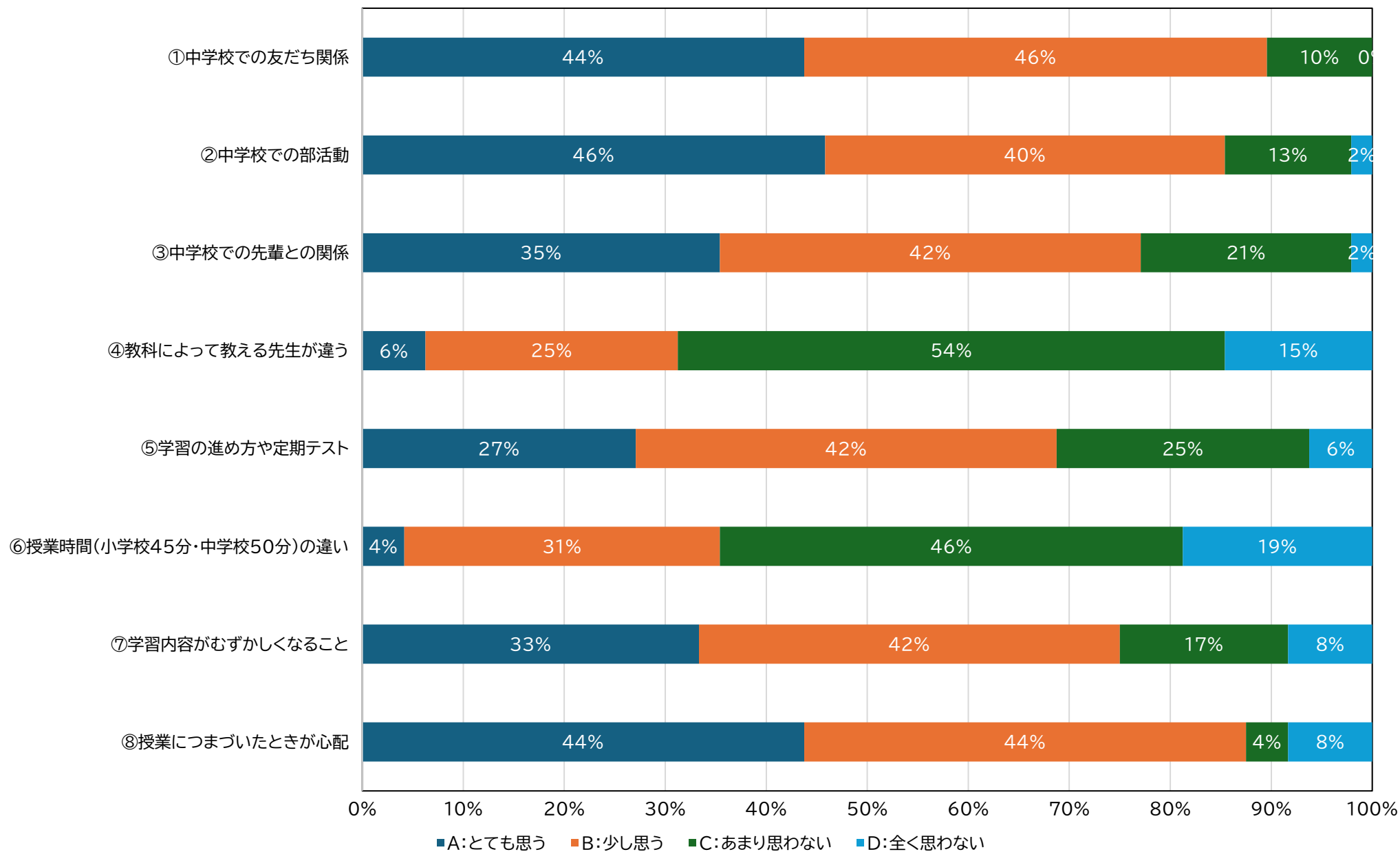
1 現状認識

- ①授業で、これまで習ったことや今後習うことにもふれるなど、学習内容のつながりを意識してくれていると思う。
- ②担任や学年の先生に限らず、他学年の先生など多くの先生と我が子に関りを持つようにしてくれていると思う。
- ③地域の方を先生として招いたり、校区の良さを知る活動など、地域と結びついた教育活動を計画的に行っていると思う。
- ④異学年交流や小・中学校の交流を多く行っていると思う。
- ⑤小中学校が連携して、一人一人のこどものことを多方面から深く理解してくれていると思う。
- ⑥小・中学校の先生がいっしょに授業参観をしたり、研修をしたりして交流を深めていると思う。
- ⑦子どもたちのための地域の集まりやPTA活動はよく行われている。
- ⑧小学校でも、担任以外の先生や中学校の先生にも我が子を指導してもらっていると思う。
- ⑨我が子の成長にとって、小学生と中学生の交流活動や合同行事などを行うことはよいことだと思う。
- ⑩我が子は、交流活動などを通して、上級生を頼もしく感じたり尊敬の念を持っていたりしていると感じる。
- ⑪学校運営協議会は、地域と共に子どもを育てる機能を果たしていると感じる。
- ⑫学級の人数が少なくなった時、2つの学年を一人の担任の先生が教える複式学級になっても教育効果は変わらないと思う。
- ⑬生活・学習・運動習慣を小中学校の連携を強くして形成したい。
- ⑭子ども個々の特性の把握を小学校から中学校へ連携を深めてほしい。

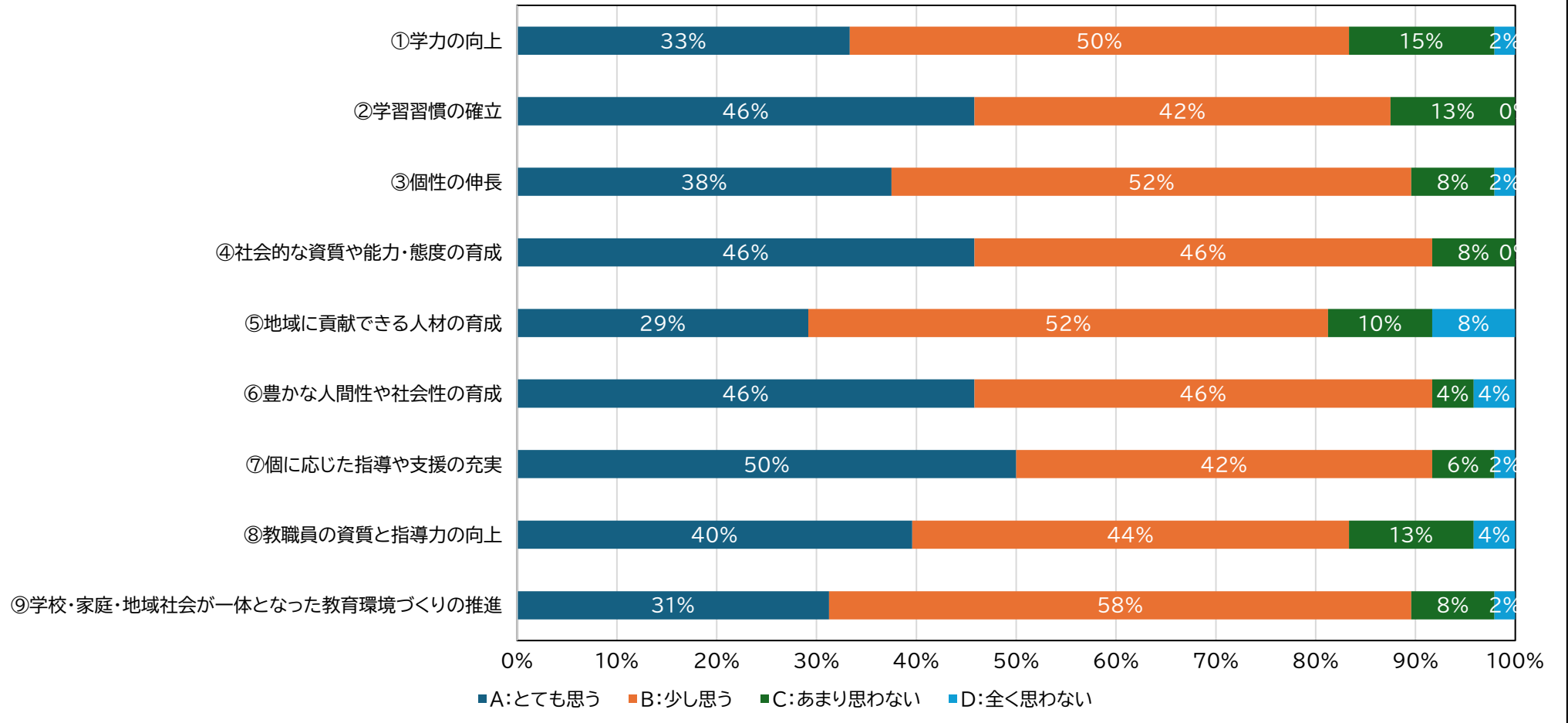


■ A: そう思う ■ B: どちらかといえばそう思う ■ C: どちらかといえばそう思わない ■ D: そう思わない

2 我が子の中学進学への心配・不安



3 連携教育への期待



4 意見・要望等

(1) 小中一貫教育のメリットに関する意見

- **環境変化への対応:** 小中学校が一貫になることで、環境変化によるストレスを軽減できる可能性がある。
- **交流促進:** 中学生がいない家庭にとって、小中交流は中学校生活への将来像を描きやすくなる機会となる。

- **連帯感の醸成:** 子供同士の連帯感が強まることが期待される。
- **学習面の柔軟性:** 9年間の教育課程となることで、学年ごとの学習内容に柔軟性を持たせることができる。
- **教員の連携:** 中学校教員が小学校教員の指導を間近で見ることができ、子供への接し方のヒントになる可能性がある。
- **部活動の充実:**
 - 小学生でしていたスポーツ等を通じて、中学校の部活動にスムーズに馴染むことが期待できる。
 - 部活動の向上や多様化、選択肢の増加が期待できる。
 - 小学校からの競技への取り組み強化や部活の連携が期待できる。
- **行事の効率化:** 運動会などの行事が一つになれば、来賓や関係者の負担軽減につながる。
- **町予算の負担軽減:** 校舎が一つになることで、ランニングコストの削減が期待できる。

(2)小中一貫教育のデメリット・懸念点に関する意見

- **環境変化への対応:** 変化が少ない閉鎖的な環境になった場合、いじめなどの友人関係の問題が深刻化し、長期不登校につながる可能性がある。
- **不登校への対応:** 不登校になった際の見守り方や、学校以外のフリースクールがないなど、不登校になった際の対応の弱さが懸念される。
- **中学校教員の指導方法:** 小学校教員と中学校教員の子供への接し方のギャップが、子供の意欲ややる気を阻害する可能性がある。
- **友人関係の固定化:** 小中学校でメンバーが変わらないことによる、友人関係での失敗からの逃げ場のなさが心配される。
- **高校進学への影響:** 人数の少なさや人付き合いへの不安から、高校進学後に気後れする可能性がある。
- **競争心の低下:** 人数が少ないことによる、子供たちの競争心への影響が心配される。

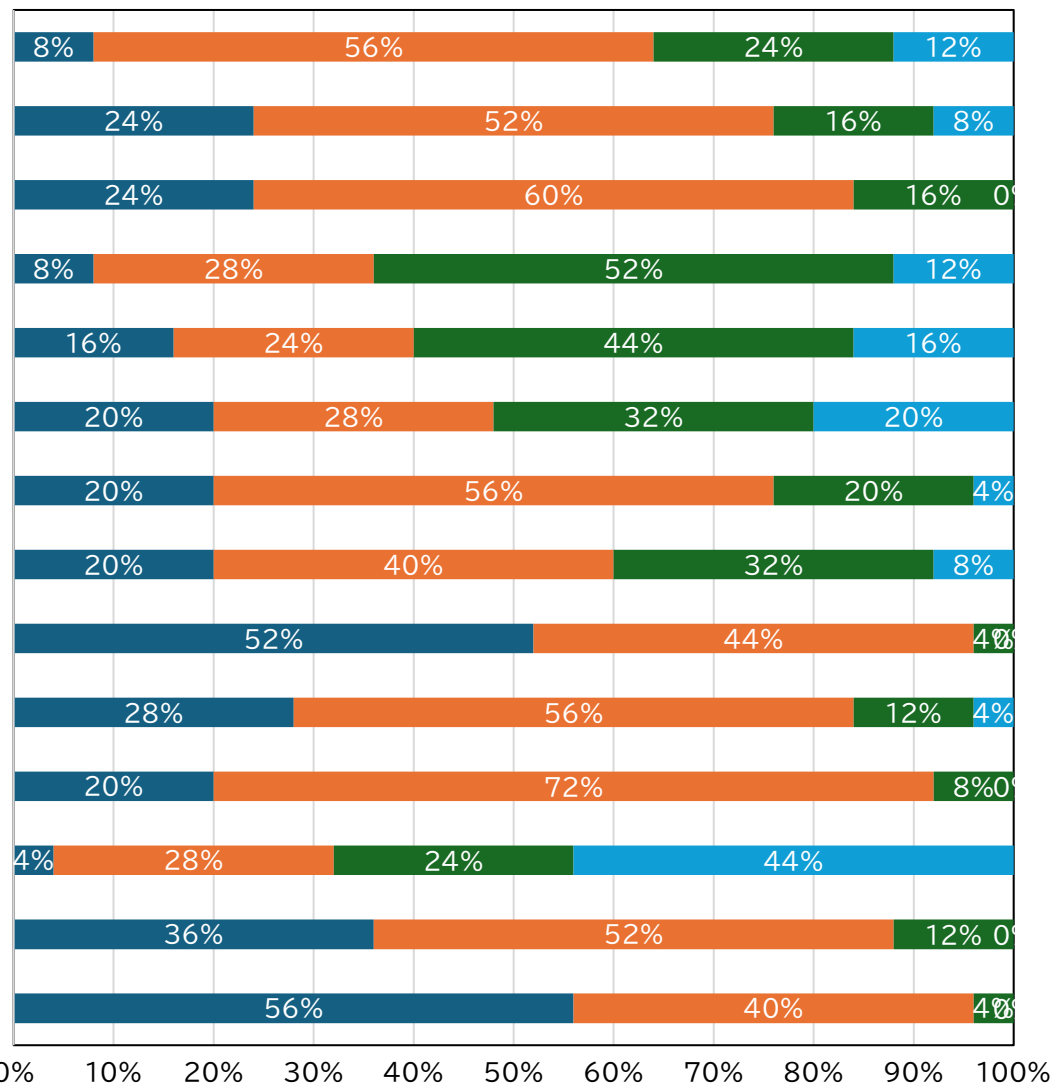
(3)その他

- **小学校の連携:** 彼杵小学校と千綿小学校の連携や合併を優先すべきという意見がある。
- **中学校の現状:**
 - 中学校のスクールバスの利用に不公平感があるという意見。
 - 中学校の部活動のあり方(外部委託など)を明確にしてほしいという意見。
 - 中学校の校舎の老朽化や、教員の指導方法に対する不安の声がある。
- **その他要望:**
 - 子供たちが意欲的に新しいことに挑戦できるような、楽しい居場所になることを望む。
 - 学習が分からなくなったときのサポートを充実させてほしい。
 - 子供たちの個性や才能を伸ばせるような教育を望む。
 - 地域との関わりを深めるためのボランティア活動などを取り入れてほしい。
 - 教育委員会や学校教員の資質向上を望む。
 - 子供たちのために、利権にとらわれない判断を望む。

4 中学生保護者〈全体〉

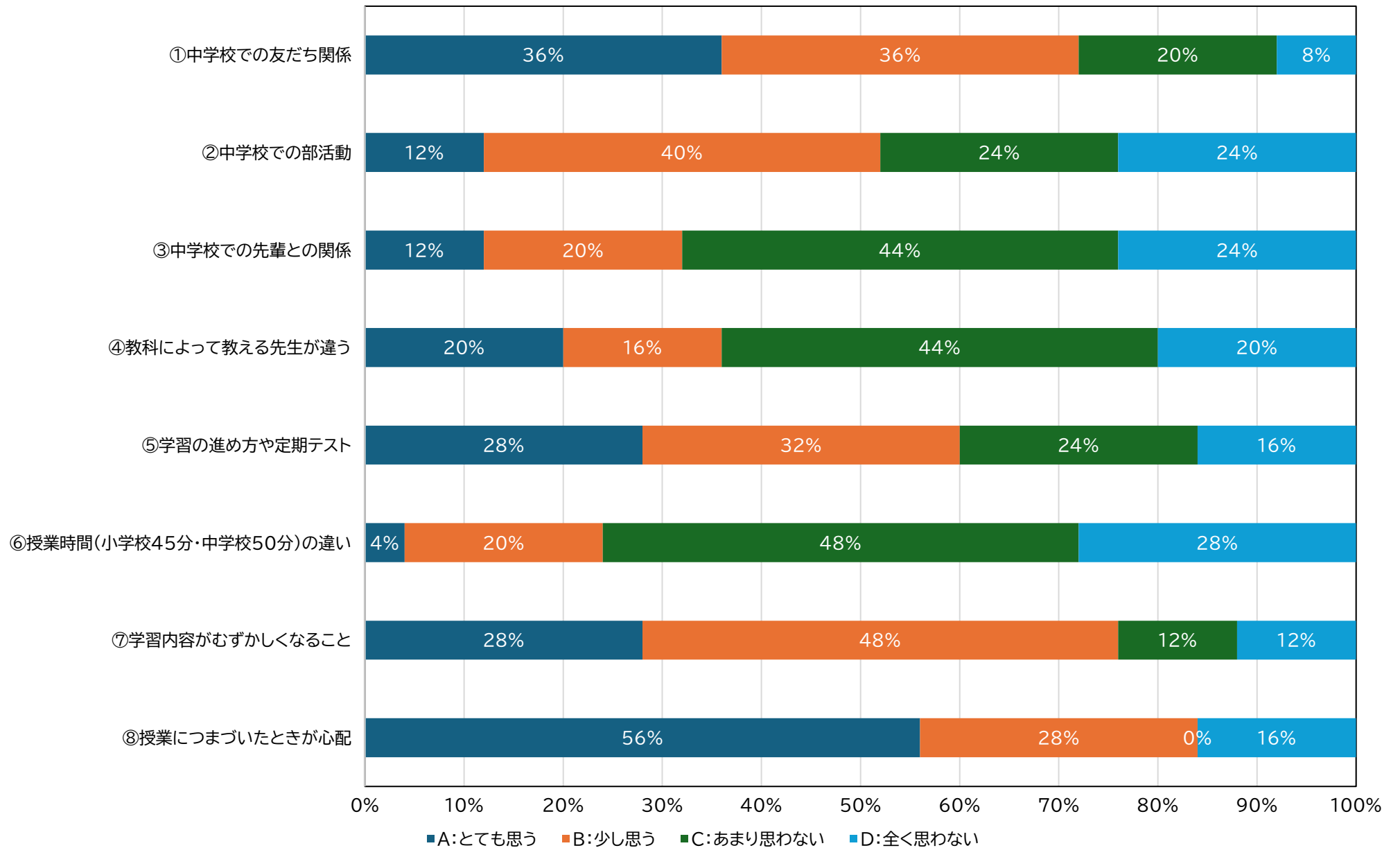
1 現状認識

- ①授業で、これまで習ったことや今後習うことにもふれるなど、学習内容のつながりを意識してくれていると思う。
- ②担任や学年の先生に限らず、他学年の先生など多くの先生と我が子が関わりを持つようになっていると思う。
- ③地域の方を先生として招いたり、校区の良さを知る活動など、地域と結びついた教育活動を計画的に行っていると思う。
- ④異学年交流や小・中学校の交流を多く行っていると思う。
- ⑤小中学校が連携して、一人一人のこどものことを多方面から深く理解してくれていると思う。
- ⑥小・中学校の先生がいっしょに授業参観をしたり、研修をしたりして交流を深めていると思う。
- ⑦子どもたちのための地域の集まりやPTA活動はよく行われている。
- ⑧小学校でも、担任以外の先生や中学校の先生にも我が子を指導してもらっていると思う。
- ⑨我が子の成長にとって、小学生と中学生の交流活動や合同行事などを行うことはよいことだと思う。
- ⑩我が子は、交流活動などを通して、上級生を頼もしく感じたり尊敬の念を持っていたりしていると感じる。
- ⑪学校運営協議会は、地域と共に子どもを育てる機能を果たしていると感じる。
- ⑫学級の人数が少なくなった時、2つの学年を一人の担任の先生が教える複式学級になっても教育効果は変わらないと思う。
- ⑬生活・学習・運動習慣を小中学校の連携を強くして形成したい。
- ⑭子ども個々の特性の把握を小学校から中学校へ連携を深めてほしい。

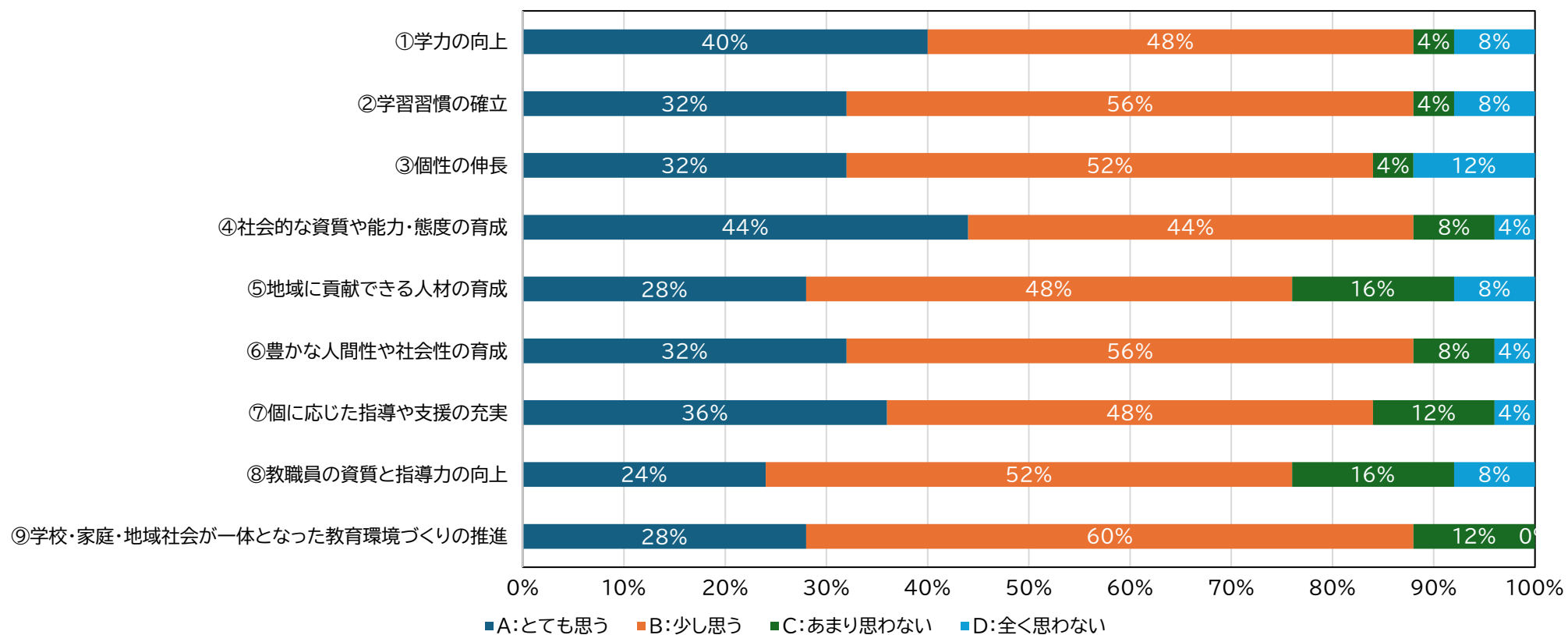


■ A: そう思う ■ B: どちらかといえばそう思う ■ C: どちらかといえばそう思わない ■ D: そう思わない

2 我が子が中学校入学時に不安に思っていると感じたこと



3 連携教育への期待



4 意見・要望等

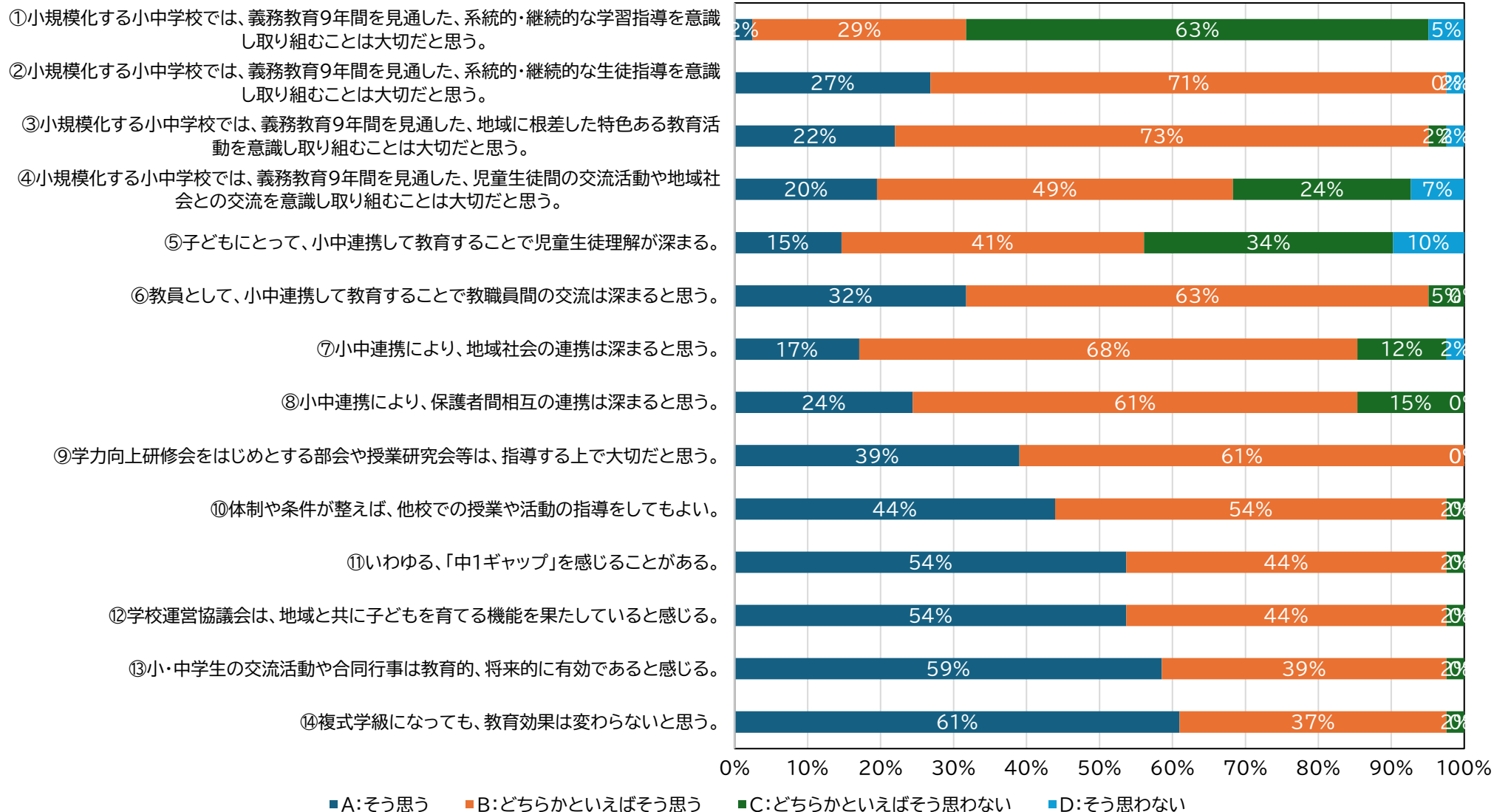
- ・ 小・中一貫になることで、小学校から中学校へ上がる際に、子供の特性や長所、短所などがきちんと引き継がれることを期待する意見がある。
- ・ 小中一貫教育のメリットやデメリットについて情報を求める意見がある。
- ・ 小学校と中学校の先生が一緒になることで、子供たちの理解者が増え、子供にとってプラスになることを期待する意見がある。

その他

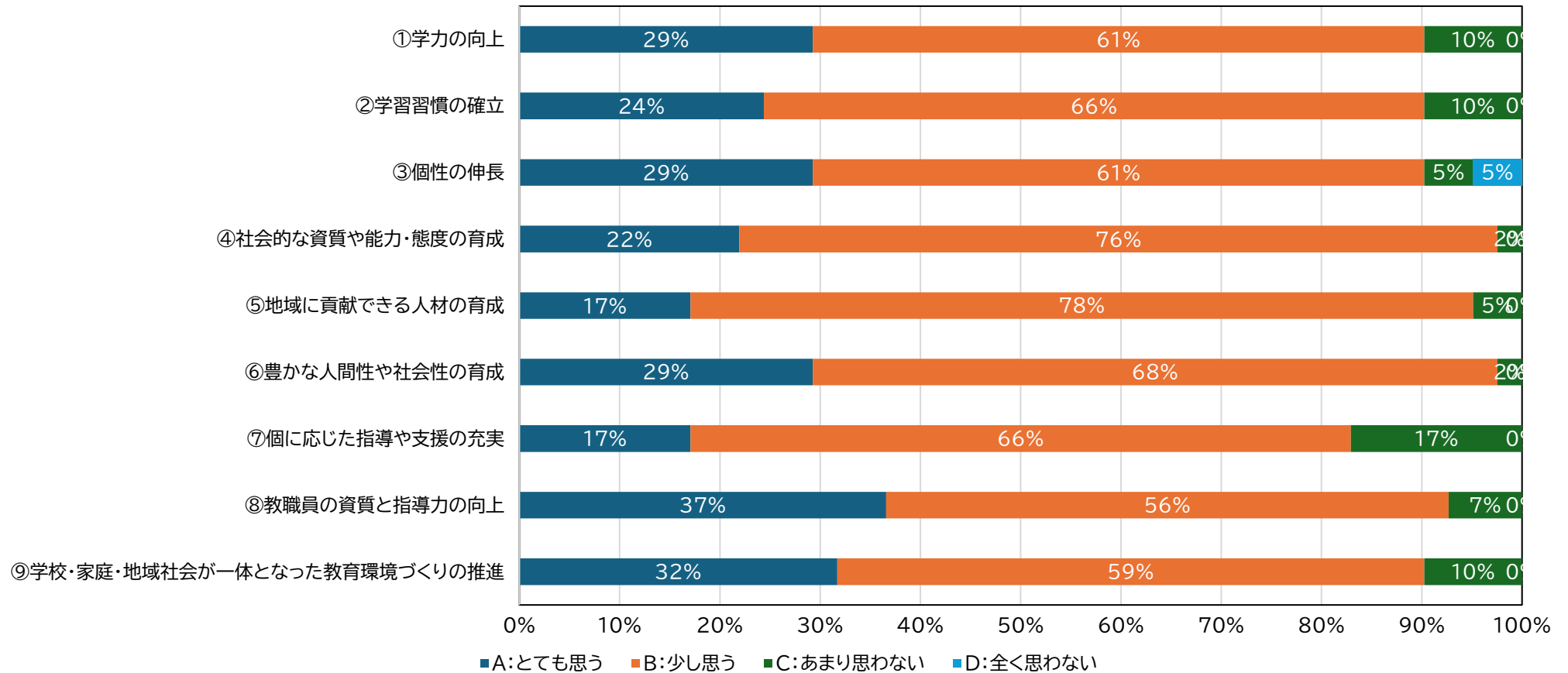
- 異なる学年との交流について、授業時間の確保ができるか疑問視する意見がある。
- 全体的に学力が低いという情報に対し、原因や対策について知りたいという意見がある。
- アンケートの質問が多すぎるという意見や、選択肢に「分からない」を設けてほしいという意見がある。
- 小学校の先生方のサポートは手厚いが、中学校の先生はばらつきがあるように感じるという意見がある。
- 将来の学校のあり方を考えるのであれば、今の保育園、乳児の保護者の意見を取り入れた方が良いという意見がある。

5 教職員＜全体＞

1 現状の意識



2 連携教育への期待



4 意見・要望等

小中一貫教育・小中連携に関する意見

・ 期待される効果

- 生徒の情報や個別の支援計画が共有しやすくなる。
- 小学校段階から地域スポーツへの移行がスムーズに行える。

- 小中連携を深めることで、小学校から中学校への移行がスムーズにできるようになる。
- 9年間を見通した指導により、生活指導や学習指導等で良い影響がある。
- 小学校の先生と中学校の先生が一緒になることで、子供たちの理解者が増える。
- **懸念点・要望**
 - 小中連携に伴う時間調整等で無理が生じることが考えられ、働き方改革を念頭に置いた取り組みが必要である。
 - 小中一貫教育のメリット・デメリットについて具体的に議論する必要がある。
 - 保護者への説明、教員の働き方について、現場の実態を考慮した検討が必要である。
 - 異なる学年との交流について、授業時間の確保ができるか疑問視する意見がある。
- **その他**
 - 小中一貫教育になる前に、定期的な交流を段階的に行う必要がある。
 - 安易な小中一貫化には疑問があり、小規模校でも小学校は小学校で、中学校は中学校でやっていくことが良いという意見がある。

学校教育・教育全体への意見

- **地域性・特色を活かした教育**
 - 千綿、彼杵の地域性を生かした教育が重要である。
 - 地域の教育力の低下や家庭教育における保護者の多様な考え方、社会情勢の変化に伴う子供たちの精神の不安定さなど、学校教育だけでなく、広く町全体の教育について考える必要がある。
 - 子供たちが町の人間であることを意識して、社会性や奉仕の精神を育て、町を愛する大人へと成長する子どもを育てたい。
- **ICT教育について**
 - 学校現場へのICT化普及に伴い、町の予算の中での費用対効果を確認し、無駄がないかチェックしてほしい。
 - ICT化推進の裏側で、漢字や数字の書き順の間違い、字の乱雑さなど、子供たちの基礎学力低下も懸念されるため、ICT化と基礎学力育成のバランスを考慮する必要がある。
- **その他**
 - キャリア教育(職業観の育成)の必要性を指摘する意見。
 - 中一入学時、またはその後の不安や登校渋りがある生徒たちの心のケアを重視すべきという意見。
 - 生徒が自分の思いや意見をしっかり言葉に出すことが苦手であること、支援員への依存心が強い児童生徒が多いことが課題であるという意見。
 - 中学校を新しく建て直す場合は、騒音による授業への影響を避けるために、線路近くには建てないでほしいという意見。

- 将来的な児童数の減少を見据え、小学校統合後も1学年の人数が35人に満たず2クラスにならないような事態は避けるべきという意見。
- 子供たちが幸せを感じる人生を送るために、どのような教育が必要かを考えるべきという意見。
- 全体的に学力が低いという情報に対し、原因や対策について知りたいという意見がある。
- 小学校の先生方のサポートは手厚いが、中学校の先生はばらつきがあると感じるという意見がある。
- 今の在校生だけでなく、将来を見据えて今の保育園、乳児の保護者の意見を取り入れた方が良いという意見がある。